

# ヨシナカ新聞

5月号  
発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL:03-3555-0796

## 大和言葉

先月号に続きまして、大和言葉を使って、メールやライン、手紙等でどのように表現するかの例を紹介させていただきます。

### ●どうぞお健やかに

お元気ですか？と尋ねて、私は元気ですと返ってきるとちよっと単調な感じになりますので、どうぞお健やかにと表現してみると印象が良くなります。

### ●まめに暮らす

お元気ですか？、私は元気ですとこのを、まめに暮らすに代えてみると、とても趣のある表現になります。

### ●おいたわり下さい

ご自愛くださいも良い言葉ですが、数日前に送った相手に、またご自愛くださいと書くとは何となく事務的になり、心がこもっていない感じになります。御身体をお厭いください

という言い方もあります。

### ●胸に染みました(胸に響きました)

感動したという言葉も決して悪くはありませんが、お合状やお礼のメールで安易に使ってしまう表現です。胸に染みましたと書くとは微妙にニュアンスが異なります。

### ●御心(おこころ)にかけて頂く

いつもお心にかけて頂き、有難うございます。直接的な利益を与えてくれる人にも、ただ案じてくれる人にも、どちらにも使える感謝の表現で、すがすがしさを感じる言葉です。

### ●お手を煩わせる

ご面倒をおかけしてでもいいのですが、面倒という言葉を使うと、相手の方は確かに面倒だと思われるかもしれません。

### ●お汲み取り下さい

どうぞご理解くださいもいいのですが、こちら

のほう相手の心に柔かく響くようです。

### ●折り合いますよう

妥協しようでも意味は同じですが、妥協というどちらにも負けたような感じになるのに対して、折り合うと言えば双方が大人の対応をした感じになります。

### ●あまさず頂く

完食という言葉が多く使われていますが、この言い方は食べ物やそれを作ってくれた人への感謝の気持ちが滲み出ている言葉です。

### ●ようこそお運びくださいました

ようこそいらつしやいましたでも十分に丁寧ですが、こちらの方が、より強い歓迎の気持ちが伝わります。

### ●嬉しゅうございます

嬉しく存じます古めかしい感じがしますが、勇気を持って使うと相手の心に響く言葉です。

を算出するのです。試験面が硬いほど表面積はより小さくなり、逆に試験面が柔らかいほど表面積は大きくなります。



ピラミッド状のくぼみ

## ステンレス豆知識(ビッカース硬さ試験)

仕上げ硬さは用途によっては非常に重要な項目になります。規格範囲を逸脱すると、2次、3次加工に支障をきたしたり、使用出来ない場合も出てきます。

JISには次のように書かれています。「ビッカース硬さとは①対角面が136

度のダイヤモンド四角すいを用い、試験面にピラミッド形のくぼみをつけたときの荷重を、②永久くぼみの対角線の長さから求めた表面積で除した(割った商(答え)をいう)

要するに、ダイヤモンドのどがった角(かど)を押しつけて、その時出来た窪みの表面積の大きさと硬さ

## 歴代横綱の錦絵と写真

先日、両国国技館内の、相撲博物館を見学して来ました。その中で興味深かったのが歴代横綱の額。初代『明石志賀之助』から第71代『鶴竜』まで並べて展示されていました。初代から

第15代「梅ヶ谷」までは錦絵(浮世絵の多色版画)で、第16代「西ノ海」から

### 第15代横綱 梅ヶ谷



第16代「西ノ海」からは写真で展示されました。

### 第16代横綱 西ノ海



梅ヶ谷の錦絵をご覧いただきありがとうございます。梅ヶ谷が、筋肉の異常な発達で顔が身体にめりこんでしまっ

ています。それに対して、西ノ海は最近の幕内力士と比較しても少し小さいのではないかと思える体格に見えます。博物館では、15代目まで続く錦絵の隣の16代

からいきなり写真で展示されていますので、あまりの差に違和感を感じてしまいました。しかし、この二人の身長と体重を調べてみ

ますと、実際には梅ヶ谷が176cm、120kg、西ノ海が176cm、127kgと殆ど変わらず、逆に西ノ海の方が重いくらいです(ちなみに平成24年5月当時の幕内力士の平均は186cm、160kgでした)。

と、そんな事を考えているうちに、もしかしたら15代目の写真や16代目の錦絵が残っているのではないかと思います、ネットで調べましたところ、ありました。

### 第15代横綱 梅ヶ谷



やはり錦絵は本人とはかけ離れた表現のようです。錦絵は一つの芸術だと思いませんか？、これが存在する事自体は素晴らしいと思

### 第16代横綱 西ノ海



す。ただ、錦絵と共存する形で写実的に表現されたものが初代から15代目までは、博物館で見られなかった事を、個人的には残念に思いました。(注、博物館内が撮影禁止でしたので、錦絵、写真等の資料は全てインターネット上から取得しました)。